

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成22年11月24日
【発行者名】	クローバー・アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 近野 幸子
【本店の所在の場所】	大阪府大阪府中央区内本町一丁目1番8号アプリコ201
【事務連絡者氏名】	コンプライアンス室長 石原 裕之
【電話番号】	03-3222-1220
【届出の対象とした募集 （売出）内国投資信託 受益証券に係るファンド の名称】	らくちんファンド
【届出の対象とした募集 （売出）内国投資信託 受益証券の金額】	上限5,000億円
【縦覧に供する場所】	該当事項ありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出しましたので、平成22年5月21日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を訂正するため、本訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正の内容】

下線部____は訂正部分を示します。

第一部【証券情報】

<訂正前>

(8)【申込取扱場所】

<申込取扱場所>

クローバー・アセットマネジメント株式会社()	
所在地	(本社)〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番8号 アプリコ201 (東京オフィス) <u>〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目3番地</u>
電話番号	(本社) 06-4790-6200/ (東京オフィス) 03-3222-1220
営業時間	午前9時～午後5時
定休日	土曜日、日曜日、祝日ならびに年末年始

() クローバー・アセットマネジメント株式会社は、「委託会社」であるとともに、自己が発行した当該ファンドの受益権を自ら募集する「販売会社」も兼ねております。

<訂正後>

(8)【申込取扱場所】

<申込取扱場所>

クローバー・アセットマネジメント株式会社()	
所在地	(本社)〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番8号 アプリコ201 (東京オフィス) <u>〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地37 三番町葵ビル</u>
電話番号	(本社) 06-4790-6200/ (東京オフィス) 03-3222-1220
営業時間	午前9時～午後5時
定休日	土曜日、日曜日、祝日ならびに年末年始

() クローバー・アセットマネジメント株式会社は、「委託会社」であるとともに、自己が発行した当該ファンドの受益権を自ら募集する「販売会社」も兼ねております。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1.【ファンドの性格】

(2)【ファンドの仕組み】

<訂正前>

委託会社の概況

(中略)

a. 資本の額(平成22年4月末日現在)

資本金	185百万円
発行する株式の総数	400,000株(甲種類) 320,000株(乙種類)

発行済株式の総数	57,418株(甲種類) 42,642株(乙種類)
----------	--

b. 会社の沿革

平成18年 3月28日	浪花おふくろ投信株式会社 設立（資本金 50百万円）
平成18年 9月 8日	増資70百万円（資本金 120百万円）
平成20年 1月29日	金融商品取引業者 <近畿財務局長（金商）第242号>
平成20年12月12日	増資30百万円（資本金150百万円）
平成21年 7月17日	増資35百万円（資本金185百万円）
平成22年 4月 1日	楽知ん投信株式会社、かいたく投信株式会社と合併。浪花おふくろ投信株式会社を存続会社として「クローバー・アセットマネジメント株式会社」に商号変更（資本金 185百万円）。

c. 大株主の状況（平成22年4月末日現在）

発行済株式の総数(a)および資本金		甲種類株式： 57,418株 (a) 乙種類株式： 42,642株 * 合計： 100,060株 資本金： 185百万円	
氏名、商号または名称	住所	保有株式数(b)	比率(b/a)
石津 史子	奈良県奈良市	9,000株	15.7%
中井 朱美	大阪府大阪市	7,000株	12.2%
樋栄 邦直	北海道旭川市	5,850株	10.2%

*乙種類株式は議決権を有しません。

（後略）

<訂正後>

委託会社の概況

（中略）

a. 資本の額（平成22年10月末日現在）

資本金	210百万円
発行する株式の総数	400,000株(甲種類) 320,000株(乙種類)
発行済株式の総数	59,918株(甲種類) 65,142株(乙種類)

b. 会社の沿革

平成18年 3月28日	浪花おふくろ投信株式会社 設立（資本金 50百万円）
平成18年 9月 8日	増資70百万円（資本金 120百万円）
平成20年 1月29日	金融商品取引業者 <近畿財務局長（金商）第242号>
平成20年12月12日	増資30百万円（資本金150百万円）
平成21年 7月17日	増資35百万円（資本金185百万円）
平成22年 4月 1日	楽知ん投信株式会社、かいたく投信株式会社と合併。浪花おふくろ投信株式会社を存続会社として「クローバー・アセットマネジメント株式会社」に商号変更（資本金 185百万円）。
平成22年 7月30日	増資25百万円（資本金210百万円）

c. 大株主の状況（平成22年10月末日現在）

発行済株式の総数(a)および資本金		甲種類株式： 59,918株 (a) 乙種類株式： 65,142株 * 合計： 125,060株 資本金： 210百万円	
氏名、商号または名称	住所	保有株式数(b)	比率(b/a)

石津 史子	奈良県奈良市	9,000株	<u>15.0%</u>
中井 朱美	大阪府大阪市	7,000株	<u>11.7%</u>
樋栄 邦直	北海道旭川市	5,850株	<u>9.8%</u>

* 乙種類株式は議決権を有しません。

（後略）

2. 【投資方針】

(2) 【投資対象】

< 訂正前 >

（前略）

* 上記は平成22年4月末日現在の指定投資信託証券です。

（中略）

（参考）指定投資信託証券について

指定投資信託証券の投資方針、関係法人、信託報酬等について、平成22年4月末日現在で委託会社が知りうる情報等を基に記載したものです。

今後、指定投資信託証券の各委託会社（運用会社）の都合等により、記載の内容が変更となる場合があります。

また、ここに記載した指定投資信託証券は平成22年4月末日現在のものであり、今後、繰上償還等により指定投資信託証券から除外される場合、あるいは、ここに記載された以外の投資信託が新たに指定投資信託証券に追加となる場合等があります。

（後略）

< 訂正後 >

（前略）

* 上記は平成22年10月末日現在の指定投資信託証券です。

（中略）

（参考）指定投資信託証券について

指定投資信託証券の投資方針、関係法人、信託報酬等について、平成22年10月末日現在で委託会社が知りうる情報等を基に記載したものです。

今後、指定投資信託証券の各委託会社（運用会社）の都合等により、記載の内容が変更となる場合があります。

また、ここに記載した指定投資信託証券は平成22年10月末日現在のものであり、今後、繰上償還等により指定投資信託証券から除外される場合、あるいは、ここに記載された以外の投資信託が新たに指定投資信託証券に追加となる場合等があります。

（後略）

(3) 【運用体制】

< 訂正前 >

（前略）

* 運用体制は平成22年4月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（後略）

< 訂正後 >

（前略）

* 運用体制は平成22年10月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（後略）

3. 【投資リスク】

< 訂正前 >

(前略)

リスク管理体制は、平成22年4月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

(前略)

リスク管理体制は、平成22年10月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

4.【手数料及び税金】

(3)【信託報酬等】

<訂正前>

(前略)

税額は平成22年4月末日現在のものであり、税法が改正された場合は、その内容が変更されることがあります。

(後略)

<訂正後>

(前略)

税額は平成22年10月末日現在のものであり、税法が改正された場合は、その内容が変更されることがあります。

(後略)

5.【運用状況】

原届出書の該当箇所を以下の内容に訂正します。

(1)【投資状況】

(平成22年10月末日現在)

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	316,721,838	75.75
内 日本	316,721,838	75.75
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	101,366,799	24.25
純資産総額	418,088,637	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

(平成22年10月末日現在)

主要銘柄の明細

(単位：円)

	銘柄名 地域	種類 業種	口数	簿価単価 簿価	評価単価 時価	投資 比率
1	ニッポンコムジェスト・エマージ ングマーケット・ファンドS A (追加型株式投資信託/適格機関 投資家限定) 日本	投資信託 受益証券 -	102,000,230	0.8703 88,777,549	0.9366 95,533,415	22.85%

2	ニッポンコムジェスト・ ヨーロッパ・ファンドS A（追加 型株式投資信託/適格機関投資家 限定） 日本	投資信託 受益証券 -	84,713,248	0.7462 63,220,738	0.7436 62,992,771	15.07%
3	さわかみファンド 日本	投資信託 受益証券 -	88,542,084	1.2257 108,527,357	1.1493 101,761,417	24.33%
4	T M A 長期投資ファンド （適格機関投資家限定） 日本	投資信託 受益証券 -	71,790,148	0.7928 56,921,436	0.7861 56,434,235	13.50%

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

【投資不動産物件】

当該事項はありません。

【その他投資資産の主要】

当該事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

平成22年10月末日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期間末日の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配付) (円)
設定時 (平成20年4月24日)	92,395,000	-	1.0000	-
第1期計算期間末 (平成21年2月25日)	224,677,353	224,677,353	0.6704	0.6704
第2期計算期間末 (平成22年2月25日)	362,479,403	362,479,403	0.8231	0.8231
平成21年10月末日	325,524,398	-	0.8108	-
11月末日	319,274,557	-	0.7891	-
12月末日	351,574,248	-	0.8482	-
平成22年1月末日	357,378,013	-	0.8298	-
2月末日	361,745,301	-	0.8214	-
3月末日	392,012,352	-	0.8748	-
4月末日	396,108,634	-	0.8752	-
5月末日	378,839,537	-	0.8139	-
6月末日	384,750,866	-	0.8070	-
7月末日	396,029,894	-	0.8190	-
8月末日	390,215,528	-	0.7941	-
9月末日	421,735,764	-	0.8284	-
10月末日	418,088,637	-	0.8158	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1期計算期間（自 平成20年4月24 至 平成21年2月25日）	0.0000
第2期計算期間（自 平成21年2月26 至 平成22年2月25日）	0.0000

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1期計算期間（自 平成20年4月24 至 平成21年2月25日）	33.0
第2期計算期間（自 平成21年2月26 至 平成22年2月25日）	22.8
第3期中間計算期間（自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日）	4.2

（注）収益率は、以下の計算式により算出しております。

$$\text{収益率} = (\text{計算期間末の基準価額} - \text{当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額}) \div \text{前期末の基準価額} \times 100$$

第1期は、前期末の基準価額ではなく設定日の基準価額にて計算しております。

なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

第2 【財務ハイライト情報】

原届出書の該当箇所を以下の内容に訂正・追加します。

<訂正・追加>

本項の記載事項は、有価証券届出書「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」の「1 財務諸表」については、イデア監査法人により中間監査証明を受けており、当該中間監査証明にかかる監査報告書は当該「財務諸表」の箇所に添付しております。」から抜粋したものです。

らくちんファンド
 (1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前中間計算期間末 平成21年8月25日現在	当中間計算期間末 平成22年8月25日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	596,836	740,943
コール・ローン	107,000,000	89,372,218
投資信託受益証券	211,105,539	296,229,160
流動資産合計	318,702,375	386,342,321
資産合計	318,702,375	386,342,321
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	23,295	30,666
未払委託者報酬	676,027	889,891
その他未払費用	141,398	201,037
流動負債合計	840,720	1,121,594
負債合計	840,720	1,121,594
純資産の部		
元本等		
元本	384,104,342	488,449,359
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	66,242,687	103,228,632
（分配準備積立金）	-	51,300
元本等合計	317,861,655	385,220,727
純資産合計	317,861,655	385,220,727
負債純資産合計	318,702,375	386,342,321

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	前中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	当中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
営業収益		
受取利息	28,766	23,898
有価証券売買等損益	57,731,291	15,217,920
営業収益合計	57,760,057	15,194,022
営業費用		
受託者報酬	42,394	60,286
委託者報酬	1,230,624	1,749,481
その他費用	141,398	201,037
営業費用合計	1,414,416	2,010,804
営業利益又は営業損失()	56,345,641	17,204,826
経常利益又は経常損失()	56,345,641	17,204,826
中間純利益又は中間純損失()	56,345,641	17,204,826
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	253,939	242,312
期首剰余金又は期首欠損金()	110,474,972	77,915,711
剰余金増加額又は欠損金減少額	714,280	2,249,435
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	714,280	2,249,435
剰余金減少額又は欠損金増加額	12,573,697	10,115,218
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	12,573,697	10,115,218
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	66,242,687	103,228,632

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第2期中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
1. 有価証券の評価基準及び 評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価 しております。 時価評価にあたっては、投資信託 受益証券の基準価額に基づいて評 価しております。	投資信託受益証券 同左

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	第2期中間計算期間末 平成21年8月25日現在	第3期中間計算期間末 平成22年8月25日現在
1. 期首元本額	335,152,325円	440,395,114円
期中追加設定元本額	51,169,449円	60,828,934円
期中一部解約元本額	2,217,432円	12,774,689円
2. 中間計算期間末日における 受益権の総数	384,104,342口	488,449,359口
3. 元本の欠損	中間貸借対照表上の純資産額が 元本総額を下回っており、その差 額は66,242,687円であります。	中間貸借対照表上の純資産額が 元本総額を下回っており、その差 額は103,228,632円であります。

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第2期中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
該当事項はありません。	同左

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

第2期中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
該当事項はありません。	同左

(1口当たり情報)

	第2期中間計算期間末 平成21年8月25日現在	第3期中間計算期間末 平成22年8月25日現在
1口当たり純資産額	0.8275円	0.7887円
(1万口当たり純資産額)	(8,275円)	(7,887円)

第三部 【ファンドの詳細情報】

<訂正前>

第2【手続等】

1【申込(販売)手続等】

申込期間中の各営業日に、第一部「証券情報」にしたがって受益権の募集が行われます。

1) 申込の受付場所

当ファンドの取得の申込は、下記の申込取扱場所にて取扱っています。

<申込取扱場所(委託会社)>

名称	クローバー・アセットマネジメント株式会社()
所在地	(本社) 〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番8号アプリコ201 (東京オフィス) 〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目3番地
電話番号	(本社)06-4790-6200/ (東京オフィス)03-3222-1220
営業時間	午前9時～午後5時
定休日	土曜日、日曜日、祝日ならびに年末年始

()クローバー・アセットマネジメント株式会社は、「委託会社」であるとともに、自己が発行した当該ファンドの受益権を自ら募集する「販売会社」も兼ねております。

<訂正後>

第2【手続等】

1【申込(販売)手続等】

申込期間中の各営業日に、第一部「証券情報」にしたがって受益権の募集が行われます。

1) 申込の受付場所

当ファンドの取得の申込は、下記の申込取扱場所にて取扱っています。

<申込取扱場所(委託会社)>

名称	クローバー・アセットマネジメント株式会社()
所在地	(本社) 〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番8号アプリコ201 (東京オフィス) 〒102-0083 東京都千代田区三番町5番地37 三番町葵ビル
電話番号	(本社)06-4790-6200/ (東京オフィス)03-3222-1220
営業時間	午前9時～午後5時
定休日	土曜日、日曜日、祝日ならびに年末年始

()クローバー・アセットマネジメント株式会社は、「委託会社」であるとともに、自己が発行した当該ファンドの受益権を自ら募集する「販売会社」も兼ねております。

第4【ファンドの経理状況】

原届出書の該当箇所を以下の内容に訂正・追加します。

<訂正・追加>

1.【財務諸表】

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産計算規則（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前中間計算期間（自平成21年2月26日 至平成21年8月25日）及び当中間計算期間（自平成22年2月26日 至平成22年8月25日）の中間財務諸表について、イデア監査法人により中間監査を受けております。

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	当中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
営業収益		
受取利息	28,766	23,898
有価証券売買等損益	57,731,291	15,217,920
営業収益合計	57,760,057	15,194,022
営業費用		
受託者報酬	42,394	60,286
委託者報酬	1,230,624	1,749,481
その他費用	141,398	201,037
営業費用合計	1,414,416	2,010,804
営業利益又は営業損失（ ）	56,345,641	17,204,826
経常利益又は経常損失（ ）	56,345,641	17,204,826
中間純利益又は中間純損失（ ）	56,345,641	17,204,826
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	253,939	242,312
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	110,474,972	77,915,711
剰余金増加額又は欠損金減少額	714,280	2,249,435
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	714,280	2,249,435
剰余金減少額又は欠損金増加額	12,573,697	10,115,218
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	12,573,697	10,115,218
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	66,242,687	103,228,632

らくちんファンド
 (1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前中間計算期間末 平成21年8月25日現在	当中間計算期間末 平成22年8月25日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	596,836	740,943
コール・ローン	107,000,000	89,372,218
投資信託受益証券	211,105,539	296,229,160
流動資産合計	318,702,375	386,342,321
資産合計	318,702,375	386,342,321
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	23,295	30,666
未払委託者報酬	676,027	889,891
その他未払費用	141,398	201,037
流動負債合計	840,720	1,121,594
負債合計	840,720	1,121,594
純資産の部		
元本等		
元本	384,104,342	488,449,359
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	66,242,687	103,228,632
（分配準備積立金）	-	51,300
元本等合計	317,861,655	385,220,727
純資産合計	317,861,655	385,220,727
負債純資産合計	318,702,375	386,342,321

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	第2期中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	投資信託受益証券 同左

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	第2期中間計算期間末 平成21年8月25日現在	第3期中間計算期間末 平成22年8月25日現在
1. 期首元本額	335,152,325円	440,395,114円
期中追加設定元本額	51,169,449円	60,828,934円
期中一部解約元本額	2,217,432円	12,774,689円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	384,104,342口	488,449,359口
3. 元本の欠損	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は66,242,687円であります。	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は103,228,632円であります。

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第2期中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
該当事項はありません。	同左

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

第2期中間計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日	第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日
該当事項はありません。	同左

(1口当たり情報)

	第2期中間計算期間末 平成21年8月25日現在	第3期中間計算期間末 平成22年8月25日現在
1口当たり純資産額	0.8275円	0.7887円
(1万口当たり純資産額)	(8,275円)	(7,887円)

2.【ファンドの現況】

原届出書の該当箇所を以下の内容に訂正・追加します。

<訂正・追加>

【純資産額計算書】

平成22年10月末日現在

資産総額	419,058,133円
負債総額	969,496円
純資産総額（ - ）	418,088,637円
発行済数量	512,462,657口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.8158円

第5【設定及び解約の実績】

原届出書の該当箇所を以下の内容に訂正・追加します。

<訂正・追加>

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1期計算期間 自 平成20年4月24日 至 平成21年2月25日	339,749,330	4,597,005	335,152,325
第2期計算期間 自 平成21年2月26日 至 平成22年2月25日	113,622,349	8,379,560	440,395,114
第3期中間計算期間 自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日	60,828,934	12,774,689	488,449,359

(注1)本邦外における設定及び解約の実績はありません。

(注2)第1期計算期間の設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

第三部 【ファンドの詳細情報】

<訂正前>

第2【手続等】

1【申込(販売)手続等】

申込期間中の各営業日に、第一部「証券情報」にしたがって受益権の募集が行われます。

1) 申込の受付場所

当ファンドの取得の申込は、下記の申込取扱場所で行っています。

<申込取扱場所(委託会社)>

名称	クローバー・アセットマネジメント株式会社()
所在地	(本社) 〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番8号アプリコ201 (東京オフィス) 〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目3番地
電話番号	(本社)06-4790-6200/ (東京オフィス)03-3222-1220
営業時間	午前9時～午後5時
定休日	土曜日、日曜日、祝日ならびに年末年始

()クローバー・アセットマネジメント株式会社は、「委託会社」であるとともに、自己が発行した当該ファンドの受益権を自ら募集する「販売会社」も兼ねております。

<訂正後>

第2【手続等】

1【申込（販売）手続等】

申込期間中の各営業日に、第一部「証券情報」にしたがって受益権の募集が行われます。

1) 申込の受付場所

当ファンドの取得の申込は、下記の申込取扱場所にて取扱っています。

< 申込取扱場所(委託会社) >

名称	クローバー・アセットマネジメント株式会社()
所在地	(本社) 〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番8号アプリコ201 (東京オフィス) 〒102-0083 東京都千代田区三番町5番地37 三番町葵ビル
電話番号	(本社)06-4790-6200/ (東京オフィス)03-3222-1220
営業時間	午前9時～午後5時
定休日	土曜日、日曜日、祝日ならびに年末年始

()クローバー・アセットマネジメント株式会社は、「委託会社」であるとともに、自己が発行した当該ファンドの受益権を自ら募集する「販売会社」も兼ねております。

第4【ファンドの経理状況】

原届出書の該当箇所を以下の内容に訂正・追加します。

< 訂正・追加 >

1.【財務諸表】

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産計算規則（平成12年総理府令第133号）」に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前中間計算期間（自 平成21年2月26日 至 平成21年8月25日）及び当中間計算期間（自 平成22年2月26日 至 平成22年8月25日）の中間財務諸表について、イデア監査法人により中間監査を受けております。

第四部 【特別情報】

第1【委託会社等の概況】

1.【委託会社等の概況】

下線部 は訂正部分を示します。

< 訂正前 >

a. 資本金の額（本書提出日現在）

資本金	<u>185,000</u> 千円
発行する株式総数	720,000 株
（内訳）	
甲種類株式	400,000株
乙種類株式	320,000株
計	720,000株
発行済株式総数	<u>100,060</u> 株
（内訳）	
甲種類株式	<u>57,418</u> 株
乙種類株式	<u>42,642</u> 株
計	<u>100,060</u> 株
（中略）	

最近5年間における資本の額の増減

平成18年 3月28日	：（増資） 50百万円（資本金 50百万円）
平成18年 9月 8日	：（増資） 70百万円（資本金 120百万円）
平成20年12月12日	：（増資） 30百万円（資本金 150百万円）
平成21年 7月17日	：（増資） 35百万円（資本金 185百万円）

b. 会社の機構

(中略)

* 運用体制は平成22年4月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

(後略)

<訂正後>

a. 資本金の額（平成22年10月末日現在）

資本金	<u>210,000</u> 千円
発行する株式総数	720,000 株
(内訳)	
甲種類株式	400,000株
乙種類株式	320,000株
計	720,000株
発行済株式総数	<u>125,060</u> 株
(内訳)	
甲種類株式	<u>59,918</u> 株
乙種類株式	<u>65,142</u> 株
計	<u>125,060</u> 株

(中略)

最近5年間における資本の額の増減

平成18年 3月28日	：（増資） 50百万円（資本金 50百万円）
平成18年 9月 8日	：（増資） 70百万円（資本金 120百万円）
平成20年12月12日	：（増資） 30百万円（資本金 150百万円）
平成21年 7月17日	：（増資） 35百万円（資本金 185百万円）
<u>平成22年 7月30日</u>	<u>：（増資） 25百万円（資本金 210百万円）</u>

b. 会社の機構

(中略)

* 運用体制は平成22年10月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

(後略)

2. 【事業の内容及び営業の概況】

<訂正前>

(前略)

委託会社が運用の指図及び受益証券の直接募集する証券投資信託は平成22年4月末日現在、以下の通りです。

種 類		本数	純資産総額
公募投資信託	追加型株式投資信託 ファンド・オブ・ファンズ	3本	<u>1,229,770,587円</u>

<訂正後>

(前略)

委託会社が運用の指図及び受益権の直接募集する証券投資信託は平成22年10月末現在、以下の通りです。

種類		本数	純資産総額
公募投資信託	追加型株式投資信託 ファンド・オブ・ファンズ	3本	<u>1,313,870,782円</u>

3.【委託会社等の経理状況】

<訂正・追加>

原届出書の該当箇所を以下の内容に更新・訂正いたします。

- (1) 委託会社であるクローバー・アセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）第2条および「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。
- なお、第4期事業年度（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）は改正前の財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき、第5期事業年度（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）は、改正後の財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づいて作成しております。
- また、財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を四捨五入して表示しております。
- (2) 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第4期事業年度（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）及び第5期事業年度（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）の財務諸表について、イデア監査法人の監査を受けております。

財務諸表

(1)【貸借対照表】

科目	期別		第4期 (平成21年3月31日現在)		第5期 (平成22年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比
(資産の部)		%				%
流動資産						
現金及び預金	17,384		5,707			
直販顧客分別金信託	39,510		33,900			
未収委託者報酬	133		297			
たな卸資産	287		835			
未収入金	325		1,043			
前払費用	141		393			
その他	-		297			
流動資産合計	57,780	76.4	42,472	60.6		
固定資産						
有形固定資産 1	2,305	3.0	1,888	2.7		
器具備品	2,305		1,888			
無形固定資産 2	1,685	2.2	8,430	12.0		
ソフトウェア	1,685		8,430			
投資その他の資産	13,883	18.4	17,309	24.7		
投資有価証券	9,566		14,092			

長期前払費用	4,117			3,017	
その他	200			200	
固定資産合計		17,873	23.6	27,627	39.4
資産合計		75,653	100.0	70,099	100.0

科目	期別	第4期 (平成21年3月31日現在)		第5期 (平成22年3月31日現在)	
		金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比
(負債の部)			%		
流動負債					
預り金 3		200		214	
未払金		1,256		11,174	
未払費用		2,203		1,685	
未払法人税等		609		651	
繰延税金負債		230		-	
流動負債合計		4,498	5.9	13,724	19.6
固定負債					
繰延税金負債		-		1,663	
固定負債合計		-	-	1,663	2.4
負債合計		4,498	5.9	15,387	22.0

科目	期別	第4期 (平成21年3月31日現在)		第5期 (平成22年3月31日現在)	
		金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比
(純資産の部)					
株主資本					
資本金		150,000	198.3	185,000	263.9
利益剰余金		79,181	104.7	132,717	189.3
その他利益剰余金					
繰越利益剰余金		79,181		132,717	
株主資本合計		70,819	93.6	52,283	74.6
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金		336		2,429	
評価・換算差額等合計		336	0.5	2,429	3.4
純資産合計		71,155	94.1	54,712	78.0
負債・純資産合計		75,653	100.0	70,099	100.0

(2)【損益計算書】

科目	期別	第4期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		第5期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(千円)	百分比	金額(千円)	百分比

営業収益			%			%
委託者報酬		1,215			2,837	
営業収益計		1,215	100.0		2,837	100.0
営業費用						
支払手数料		1,160			2,140	
受託者報酬		640			-	
広告宣伝費		399			1,135	
委託計算費		14,321			13,226	
諸会費		1,515			-	
営業雑経費		2,820			7,382	
通信費	903			1,527		
印刷費	785			1,560		
協会費	-			1,977		
その他	1,132			2,317		
営業費用計		20,855	1,716.4		23,883	841.9
一般管理費						
給料		25,973			23,179	
役員報酬	4,300			4,900		
給料手当	21,673			18,279		
交際費		-			33	
旅費交通費		2,248			891	
租税公課		649			792	
地代家賃		1,708			1,708	
減価償却費		2,753			2,133	
諸経費		2,602			3,125	
通信費	638			938		
消耗品費	968			461		
水道光熱費	172			175		
支払手数料	742			1,367		
その他	82			184		
一般管理費計		35,933	2,957.4		31,860	1,123.1
営業損失		55,573	4,573.9		52,907	1,865.0
営業外収益						
受取利息		185			28	
雑収入		119			7	
営業外収益計		304	25.0		36	1.3
営業外費用						
雑損失		1			2	
営業外費用計		1	0.1		2	0.1
経常損失		55,270	4,548.9		52,873	1,863.8

特別損失 固定資産除却損 1	-			244		
特別損失計		-	-		244	8.6
税引前当期純損失		55,270	4,548.9		53,116	1,872.4
法人税、住民税及び事業税		420	34.6		420	14.8
当期純損失		55,691	4,583.5		53,536	1,887.2

(3)【株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	第4期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	第5期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	120,000	150,000
当期変動額		
新株の発行	30,000	35,000
当期変動額合計	30,000	35,000
当期末残高	150,000	185,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	23,490	79,181
当期変動額		
当期純損失	55,691	53,536
当期変動額合計	55,691	53,536
当期末残高	79,181	132,717
利益剰余金合計		
前期末残高	23,490	79,181
当期変動額		
当期純損失	55,691	53,536
当期変動額合計	55,691	53,536
当期末残高	79,181	132,717
株主資本合計		
前期末残高	96,510	70,819
当期変動額		
新株の発行	30,000	35,000
当期純損失	55,691	53,536
当期変動額合計	25,691	18,536
当期末残高	70,819	52,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	-	336
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	336	2,093
当期変動額合計	336	2,093

当期末残高	336	2,429
評価・換算差額等合計		
前期末残高	-	336
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	336	2,093
当期変動額合計	336	2,093
当期末残高	336	2,429
純資産合計		
前期末残高	96,510	71,155
当期変動額		
新株の発行	30,000	35,000
当期純損失	55,691	53,536
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	336	2,093
当期変動額合計	25,354	16,443
当期末残高	71,155	54,712

重要な会計方針

項目	期別	第4期	第5期
		自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日	自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法		<p> その他有価証券 時価のあるもの 決算日未日の市場価格等に基づく 時価法（評価差額は、全部純資産直入 法により処理し、売却原価は、移動平 均法により算定） </p>	<p> その他有価証券 時価のあるもの 同左 </p>
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法		<p> 最終仕入原価法に基づく原価法（収 益性の低下による簿価切下げの方 法） </p>	同左

3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1)有形固定資産 定率法により償却しております。 なお、取得価額10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、3年間で均等償却しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。 器具備品 3～6年</p> <p>(2)無形固定資産 定額法により償却しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づき償却しております。 均等償却によってお均等償却によっております。 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p>	<p>(1)有形固定資産 同左</p> <p>(2)無形固定資産 同左</p> <p>(3)長期前払費用 同左</p>
4. その他財務諸表作成のための重要な事項	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。	同左

表示方法の変更

第4期	第5期
自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
	<p>（貸借対照表）</p> <p>1.前事業年度において「売掛金」として表示していたものは、「未収委託者報酬」として記載しております。</p> <p>（損益計算書）</p> <p>1.前事業年度において「信託報酬」として表示していたものは、「委託者報酬」として記載しております。</p> <p>2.前事業年度において営業費用の「諸会費」として表示していたものは、営業雑経費の「協会費」として表示しております。</p>

注記事項

（貸借対照表関係）

第4期	第5期
自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日	自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 器具備品 2,776千円</p> <p>2 無形固定資産の減価償却累計額 ソフトウェア 557千円</p> <p>3 預り金 このうち投資信託の直販に伴う顧客からの預り金は145千円です。</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 器具備品 3,398千円</p> <p>2 無形固定資産の減価償却累計額 ソフトウェア 680千円</p> <p>3 預り金 このうち投資信託の直販に伴う顧客からの預り金は162千円です。</p>

（損益計算書関係）

第4期	第5期
-----	-----

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
-	1 固定資産除却損の内訳 ソフトウェア 244千円

（株主資本等変動計算書関係）

第4期（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末 株式数（株）	当事業年度 増加株式数（株）	当事業年度 減少株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
甲種類株式	1,000	600	-	1,600
乙種類株式	1,400	-	-	1,400
合計	2,400	600	-	3,000

（変動事由の概要）

甲種類株式の増加数の内訳は、次の通りであります。

第三者割当増資による新株式発行による増加 600株

第5期（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末 株式数（株）	当事業年度 増加株式数（株）	当事業年度 減少株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
甲種類株式	1,600	14,400	-	16,000
乙種類株式	1,400	19,600	-	21,000
合計	3,000	34,000	-	37,000

（変動事由の概要）

1. 甲種類株式の増加数の内訳は、次の通りであります。

平成22年1月15日の株式分割による増加 14,400株

2. 乙種類株式の増加数の内訳は、次の通りであります。

第三者割当増資による新株式発行による増加 700株

平成22年1月15日の株式分割による増加 18,900株

（リース取引関係）

該当事項はありません。

（金融商品関係）

第5期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金および自社設定投資信託に限定しており、投機的な取引は行わない方針であります。また、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないものと認識しております。投資有価証券は基準価額の変動リスクに晒されております。これら資金運用に係るリスクは、管理部門による継続的なモニタリングにより管理しております。

未払金等の負債は全て1年内の支払期日であり、流動性リスクに晒されておりますが、資金繰計画の作成などにより当該リスクを管理しております。

(3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格が無い場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件などを採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	5,707	5,707	-
(2)直販顧客分別金信託	33,900	33,900	-
(3)未収委託者報酬	297	297	-
(4)未収入金	1,043	1,043	-
(5)投資有価証券 其他有価証券	14,092	14,092	-
資産計	55,039	55,039	-
(1)未払金	11,174	11,174	-
(2)未払費用	1,685	1,685	-
(3)未払法人税等	651	651	-
負債計	13,510	13,510	-

(注1)金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資産

(1)現金及び預金(2)直販顧客分別金信託(3)未収委託者報酬(4)未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5)投資有価証券

 其他有価証券

投資有価証券はすべて投資信託であり、基準価格によっております。

負債

(1)未払金(2)未払費用(3)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2)金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

	1年以内 (千円)	1年超5年 以内(千円)	5年超10年 以内(千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	5,707	-	-	-
直販顧客分別金信託	33,900	-	-	-
未収委託者報酬	297	-	-	-
未収入金	1,043	-	-	-
投資有価証券 其他有価証券のうち満期があるもの	-	-	-	-
合計	40,947	-	-	-

（追加情報）

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

（有価証券関係）

第4期（平成21年3月31日現在）

1. その他有価証券で時価のあるもの

区分	第4期(平成21年3月31日)		
	取得原価 (千円)	貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)

貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの その他	9,000	9,566	566
小計	9,000	9,566	566
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの その他	-	-	-
小計	-	-	-
合計	9,000	9,566	566

2. 当事業年度中に売却したその他有価証券
該当事項はありません。

第5期（平成22年3月31日現在）

1. その他有価証券

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	14,092	10,000	4,092
	小計	14,092	10,000	4,092
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	-	-	-
	小計	-	-	-
合計		14,092	10,000	4,092

2. 当事業年度中に売却したその他有価証券
該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）
該当事項はありません。

（退職給付関係）
該当事項はありません。

（税効果会計関係）

（単位：千円）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別内訳

	第4期 (平成21年3月31日現在)	第5期 (平成22年3月31日現在)
（繰延税金資産）		
繰越欠損金	31,741	53,936
未払事業税	77	94
繰延税金資産小計	31,818	54,030
評価性引当額	31,818	54,030
繰延税金資産合計	-	-
（繰延税金負債）		
その他有価証券評価差額金	230	1,663

繰延税金負債合計	230	1,663
繰延税金資産の純額	230	1,663

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

第4期 (平成21年3月31日現在)	第5期 (平成22年3月31日現在)
税引前当期純損失であるため記載していません。	税引前当期純損失であるため記載していません。

(関連当事者情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

第4期 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	第5期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
1株当たり純資産額 23,718円44銭 1株当たり当期純利益金額 21,547円07銭	1株当たり純資産額 1,478円70銭 1株当たり当期純利益金額 1,536円36銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため及び1株当たり当期純損失が計上されているため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため及び1株当たり当期純損失が計上されているため記載していません。
1株当たり当期純利益（損失）金額の算定上の基礎 当期純利益（損失）（千円） 55,691 普通株主に帰属しない金額（千円） - 普通株式に係る当期純利益（損失）（千円） 55,691 普通株式の期中平均株式数（株） 2,585	1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎 当期純利益（千円） 53,536 普通株主に帰属しない金額（千円） - 普通株式に係る当期純利益（千円） 53,536 普通株式の期中平均株式数（株） 34,846
1株当たり純資産額の算定上の基礎 純資産の部の合計（千円） 71,155 純資産の部から控除する合計額（千円） - 普通株式に係る期末の純資産（千円） 71,155	1株当たり純資産額の算定上の基礎 純資産の部の合計（千円） 54,712 純資産の部から控除する合計額（千円） - 普通株式に係る期末の純資産（千円） 54,712
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（株） 3,000	1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数（株） 37,000
(注) 甲種類株式及び乙種類株式については、普通株式と同等の取扱をしております。	(注) 甲種類株式及び乙種類株式については、普通株式と同等の取扱をしております。

(重要な後発事象)

第4期（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）

該当事項はありません。

第5期（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）

(当社と楽知ん投信株式会社、かいたく投信株式会社との合併について)

当社は、平成22年4月1日に楽知ん投信株式会社、かいたく投信株式会社と合併いたしました。また、同日に、当社はクローバー・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

合併に関する事項の概要は以下の通りです。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称

・ 楽知ん投信株式会社

・かいたく投信株式会社

(2)被取得企業の事業の内容

イ．投資運用業

ロ．第二種金融商品取引業

(3)企業結合を行った主な理由

3社合併により、システム費用、人件費などの経費を大幅に削減し、経営効率を高め、収益改善を早期に取り組み、経営の安定化をはかるために経営統合いたしました。

(4)企業結合日

平成22年4月1日

(5)企業結合の法的形式

当社による吸収合併

(6)結合後企業の名称

クローバー・アセットマネジメント株式会社

（旧社名：浪花おふくろ投信株式会社）

(7)取得した議決権比率

100.0%

(8)取得企業を決定するに至った主な根拠

経営理念および会社設立経緯が一致していることや、使用している計理システムが同じであることから、経営統合が容易でその効果も見込まれる楽知ん投信株式会社およびかいたく投信株式会社を取得企業に決定いたしました。

2.取得原価の算定に関する事項

(1)被取得企業の取得原価及びその内訳

新株発行 94,861千円

(2)株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付株式数

株式の種類別の交換比率

甲を当社、乙を楽知ん投信株式会社、丙をかいたく投信株式会社としますと、

乙の普通株式10株につき、甲の甲種類株式9株の割合

丙のA種類株式10株につき、甲の甲種類株式6株の割合

丙のB種類株式10株につき、甲の乙種類株式6株の割合

交換比率の算定方法

専門家による株価評価結果を参考として、合併当事者間において協議の上算定しました。

交付株式数

甲種類株式：41,418株

乙種類株式：21,642株

3.取得原価の配分に関する事項

(1)企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額並びにその主な内訳

	(単位：千円)
流動資産	70,986
固定資産	32,734
資産計	103,719
流動負債	8,859
固定負債	-
負債計	8,859

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

原届出書の該当箇所を<訂正前>から<訂正後>の内容に訂正いたします。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1)受託会社

(前略)

*平成21年9月末日現在

(後略)

<訂正後>

(1)受託会社

(前略)

*平成22年6月末日現在

(後略)

2【関係業務の概要】

(1)受託会社

<訂正前>

(前略)

<再信託受託者の概要>

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金：510億円（平成21年9月末日現在）

(後略)

<訂正後>

(前略)

<再信託受託者の概要>

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金：510億円（平成22年9月末日現在）

(後略)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年11月16日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

イデア監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 立野 晴朗 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているらくちんファンドの平成22年2月26日から平成22年8月25日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、らくちんファンドの平成22年8月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成22年2月26日から平成22年8月25日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

クローバー・アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成21年11月16日

楽知ん投信株式会社
取締役会 御中

イ デ ア 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 立野 晴朗 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているらくちんファンドの平成21年2月26日から平成21年8月25日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続き等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、らくちんファンドの平成21年8月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年2月26日から平成21年8月25日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

楽知ん投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成22年11月16日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

イデア監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 立野 晴朗 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているクローバー・アセットマネジメント株式会社（旧社名：浪花おふくろ投信株式会社）の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第5期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、クローバー・アセットマネジメント株式会社（旧社名：浪花おふくろ投信株式会社）の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成22年4月1日に楽知ん投信株式会社及びかいたく投信株式会社と合併した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

* 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成21年5月25日

浪花おふくろ投信株式会社

取締役会 御中

イデア監査法人

指定社員
業務執行社員

公認会計士 立野 晴朗 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている浪花おふくろ投信株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第4期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、浪花おふくろ投信株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

* 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。